

令和8年度 第1回 文化財保護委員会会議録

■日時：令和8年6月17日（水）午後7時から午後8時45分まで

■場所：宮代町郷土資料館2階会議室兼資料取扱室

■出席者：新井浩文委員、長谷川清一委員、青木秀雄委員、井上海委員、野口憲治委員

島村圭一教育長、飯山保孝課長、横内美穂館長、山崎健司主査、河井伸一主査、中村啓子主任

■傍聴者：0名

会議次第

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付
- 3 挨拶
- 4 委員長、副委員長の選出
- 5 議 題
 - (1) 令和7年度事業報告について
 - (2) 令和8年度事業計画について
 - (3) 文化財の指定候補について
 - (4) 文化財案内板の設置場所の検討について
 - (5) その他

【会議記録】

<1.開会あいさつ>

<2.委嘱状の交付>

<3.挨拶>

<各委員の自己紹介>

<職員の紹介>

事務局 それでは、委員長と副委員長の選出をさせていただきたいと思います。宮代町文化財保護委員会規則第6条（以下、「規則」とする）の規定に基づき、当委員会に委員長及び副委員長を置くことが規定されております。また、選出は同条第2項の規定により委員の互選によるとされております。互選に際しまして、何かご意見はございませんでしょうか。

<新井委員を推薦する声あり>

それでは、委員長は新井さんに引き続き、お願いしたいと思います。

新井委員 副委員長については長谷川さんをお願いしたいと思います。

<他の委員より、賛成の声あり>

事務局 それでは、委員長は新井委員、副委員長は長谷川委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

続きまして、宮代町教育委員会は令和8年4月23日付け宮教推発第166号の文書で宮代町文化財保護委員会に対して、文化財の指定について諮問されております。これから2年かけて文化財の指定について調査、審議し、教育委員会へ建議するという予定になっておりますので、よろしくお願いいたします。それでは規則第9条の規

定により、これからの議事進行は新井委員長にお願いいたします。なお、本日の会議は員会規則第9条第2項の規定における過半数の出席がありますので、成立となります。それでは新井委員長よろしくをお願いします。

<新井委員、委員長席へ移動>

新井委員長 改めまして、よろしくをお願いいたします。それでは、次第に基づき、議事を進めていきたいと思います。令和7年度の事業報告について説明をお願いします。

事務局 <令和7年度事業報告について、資料に基づいて説明>

新井委員長 ありがとうございます。何かご意見等ありますか。

長谷川委員 埋蔵文化財発掘調査事業の試掘調査は何件ですか。

事務局 4件で、個人住宅等です。遺構の検出はありませんでした。

長谷川委員 埋蔵文化財の遺物整理作業の道仏遺跡の遺物整理作業の平成29年度、令和3年度ですが、今の進捗状況と報告書の刊行予定を教えてください。

事務局 平成29年度は土師器の実測などが終わりましたが、須恵器など重要なものがまだ残っている状態です。令和3年度はまだほとんど始められていません。

青木委員 令和3年度は実測に入りました。あと土師器の方はライン引きを行っており、終わり次第、須恵器に入る予定です。

事務局 報告書は3年後ぐらいに平成29年度と令和3年度を併せて刊行する予定です。

新井委員長 それでは質問します。西原フェスタの際に旧進修館の特別公開はどのように行いましたか。参加人数はどうでしたか。

事務局 通常は内部の公開をしていますが、6年度に引き続き内部の公開を行いました。フェスタの来場者が一昨年に比べて多かったので来場者が増え、80名程でした。

新井委員長 わかりました。他にありますか。

長谷川委員 講座は参加者の人数が書いてありますが、特別展、企画展の来場者の人数はどれくらいですか。

事務局 昨年度の来館者数が1万600人くらいですので、それが展示の来館者ということになります。一昨年よりは若干減りましたが、内容による誤差の範囲かと考えております。

新井委員長 では続きまして、令和8年度事業計画について事務局から説明をお願いします。

事務局 <令和8年度事業計画を資料に基づいて説明>

新井委員長 ありがとうございます。それではご意見はありますか。

事務局 その前に補足をさせていただきます。文化財保護事業の五社神社本殿の修理について、本殿の両脇の壁面の板をつないでいたかすがいが折れるなどして、板が落下しました。昨年度から修繕の検討を県と行い、緊急修繕で予算をいただける話がまとまりました。地元の方でも修繕の費用が確保でき、工事については金剛組という有名な寺社仏閣の建築業者に依頼することになりました。工事方法は、躯体を傷めずにきちんと保護できる方法がまとまってきました。今、県に申請をするための書類をまとめています。費用としては全体額で200万弱の予算で、県の方で97～8万円の補助、町の方では9月補正予算対応になるかと思っています。

新井委員長 ありがとうございます。何かご質問ありますか。

長谷川委員 五社神社の修繕の実施時期はいつ頃になりますか。

事務局 はい。7月から8月頃に契約をし、暑い時期は避けて、工事の終了はおそらく10月から11月ぐらいかと思います。

新井委員長 文化財修理はいろいろ大変ですが、よろしくお願いします。県との連絡調整は常に取りてください。他にいかがでしょうか。それでは前にもお聞きしましたが、収蔵庫の燻蒸の薬剤はどうしますか。

事務局 バイケーンで行っています。しばらくは継続させていただきたいと思います。まだ、虫損がある民具などを受け入れているため、IPMでは弱いと考えており、しばらくはこの薬剤を使いながら、様子を見ていかざるを得ないと考えています。

新井委員長 他にいかがでしょうか。

青木委員 初任者研修や学芸員実習についてお聞きします。

事務局 初任者研修は夏休み体験学習教室の折に5名程度を受け入れる予定です。学芸員実習は2名を受け入れる予定です。

新井委員長 御朱印帳づくりですが、特に今年は秩父札所が午年総開帳で、県立文書館での展示会も来館者が多く関心が高いと思います。是非続けていただければと思います。

井上委員 昨年度の報告で11月の西原自然の森フェスタで、旧進修館特別公開の来館者が多かったとありましたが、今年度はフェスタに合わせて特別公開は行いますか。

事務局 社会福祉協議会では、M-1まつりというイベントを行うということで、西原自然の森として資料館も一緒にやりたいという申し入れをしています。日程は11月15日と決まっておりますが、詳細は未定です。また日本工業大学工業技術博物館とコラボするという話もあり、進めている状況です。

新井委員長 大学とのコラボというのは非常にいいですね。その他にいかがでしょうか。

長谷川委員 文化財保護事業に民俗行事の調査がありますが、どのような調査をするのか、また、企画展でその成果が現れるのですか。

事務局 はい、お獅子様や甘酒祭りなど宮代町の特徴的な民俗行事について再調査をしています。おっしゃるとおり、それを企画展で皆様に見ていただきたいと思います。

長谷川委員 調査した成果がすぐに展示されるのはいいことだと思います。

新井委員長 民俗行事の継続はどの市町村も課題になっていますので、展示を見た方が興味を持ってくれることもあると思います。他になれば、次の文化財の指定候補についてを説明してください。

事務局 はい、それでは文化財の指定候補一覧を見てください。全体で60件が指定候補になっています。特徴的なものを紹介します。2番「新井家文書」は百間西原下組の名主の文書です。江戸時代後期には組頭、末期には名主をした家です。点数も多く、内容的にも非常に江戸時代の村政がわかるものが残っております。

4番の「島村家(中)文書」は島村盛助家の文書です。百間中村で名主をしたお宅で、江戸時代の名主仰付状などを含む家関係の文書が30点位かと思います。百間中村の名主の文書はここしかありませんので、貴重と思います。8番の「小島家(中)文書」は、百間中村で島村家の後に戸長(旧名主)になったお宅です。小島家は江戸時代は組頭、明治期に百間七ヶ村の連合戸長で百間村の初代村長のお宅です。28番歴史資料で、「旗本永井氏3代の位牌」は江戸時代初期から前期に百間東村の名主を務めた鈴木さん宅で所有している位牌です。鈴木雅楽助が、戦国時代、岩槻北条氏のもとで百間領の領主でした。その後、百間東村の名主となりました。百間東村の領

主の旗本永井氏の歴代3代の位牌が残っているのは非常に貴重です。32番「鈴木日向守墓石」は鈴木雅楽助業俊の子どもである日向守重門の墓石が残っています。40番歴史資料「旧須賀村役場門柱」は現在の和戸公民館のところに残っています。須賀村役場の門柱がそのまま残っている点が貴重です。50番歴史資料「前机」、51番「長机」は6年度、7年度と調査を行った宝生院の所有で、前机は元禄11年の銘、長机は正徳3年の銘があります。53番建造物「東小(川島分校)校舎」は昭和30年に作られた木造校舎が残っています。現在は東小学校ですが、昭和30年当時だと百間村立百間小学校川島分校となります。56番建造物西光院庫裏は元々は埼玉県知事公舎です。西光院が昭和27年に火災に遭った後、移築し、そのまま残っているということで、貴重です。

新井委員長 説明がありましたが、ご質問等いかがでしょうか。特に、宝生院の調査の結果が候補に上がったり、以前から課題になっている建造物では東小学校の校舎が候補に上がっていますので、この辺も含めて、ご質問のある方はお願いします。

野口委員 建造物は埼玉県の近代和風建築調査の時には調査したのですか。
事務局 2次調査までで3次調査までは行っていないと思います。西光院の庫裏は入っていません。齋藤家は入っていたと思います。

新井委員長 近代和風建築調査はもう20年近くなりますね。それからどうなっているか気になります。

島村教育長 島村盛助家住宅は入っていますか。1900年のものですね。

事務局 はい、入っていたと思います。候補リストの57番です。

新井委員長 当時、古民家に関して委員が手分けして調べたものもありますので、野口先生にデータをご覧いただき、アドバイスいただければと思います。市街化で潰されたり、壊されたりしている家も多いので現況が知りたいですね。他にいかがですか。

島村教育長 須賀村役場の門柱はいつ頃のものかわからないですね。

事務局 明治40年に、和戸駅の西側へ移転して、さらに大正3年に現在の場所に移ったので、おそらくその頃だと思います。

新井委員長 住宅は個人蔵だと個人と調整が必要になるのですが、例えば東小学校だと町のものなので、毎回候補に上がっています。小学校などの登録指定は難しいですか。

野口委員 都内の場合はコンクリートの小学校がなくなっていく中で指定もできずにいるので、木造となれば、より貴重な、地方の小学校の形というので残せると思います。まだ現役なんですよ。

事務局 事務局で調べたところ、県内で木造校舎は3件ありますが、うち2件が新しい木造校舎になっています、当時のものを現用で使ってるのは、もしかして唯一ではないかと思います。他は記念館など通常の教室ではない使い方をしているので、東小学校は貴重だと自負しています。

青木委員 設計図も当時のものが確に残っていると思います。青焼きのものですね。

事務局 町指定文化財もありますが、国の登録文化財の方が効果があるかもしれませんね。百間小学校のすべり台が国の登録になった時、反響がすごかったです。

島村教育長 外壁の工事をしましたが、同じ色の塗料を使ってもらって、サッシもアルミを入れましたが、外見を変えずに直してあります。

事務局 今、国の登録で杉戸町も、角穀について野口先生が関わり、今年申請の予定で動いていると聞いています。また、幸手市でも吉田中学校の校舎について国の登録で動いているそうです。

野口委員 近代和風建築調査で調査されたものが登録や指定として上がっているような印象があります。

新井委員長 登録文化財は使いながら残せるメリットがあります。百間小のすべり台は全国的にも有名になっています。

事務局 北は北海道から南へ沖縄までの新聞に、載りました。

新井委員長 宮代町の、国の登録は日工大の工業技術資料とすべり台の2件ですね。今後さらに増やしていく必要がありますね。

事務局 国の登録に必要なのは設計図ですか？

野口委員 設計図より平面図です。平面図と配置図と写真ですね。

青木委員 東小の当時の図面も揃ってます。あと現況があればいいですね。

事務局 配置図と平面図は学校の書類であるから大丈夫ですね。

島村教育長 毎年、学校要覧で平面図を作っています。それと写真があればいいですね

野口委員 私も、ただお手伝いしかしたことはないのですが、CAD で作成して、それを書類としてまとめてました。デジタルデータですね。

新井委員長 アドバイスをいただいて進められたらいいですね。ぜひご協力よろしく願いいたします。その他いかがでしょうか。

長谷川委員 旧須賀村の門柱ですが、公民館が移動した後の跡地利用がどうなるかと懸念されるので、注意して見ていかななくてはいけないと思います。腐食するものではないのですが、意見を出せるような状態にしておくべきだと思います。

新井委員長 28番の旗本永井氏3代の位牌はどうして鈴木さんのお宅にあるのですか。

事務局 百間東村の領主が旗本永井氏で、その名主だったということと、鈴木家に旗本永井氏の関係者が養子に入っています。

新井委員長 わかりました。他にいかがでしょうか。

島村教育長 天然記念物はいつも話題になっていますが、須賀小学校のカヤは、残念ながら校舎建築の時に無くなります。カエデは残して校舎を造るということです。

新井委員長 21番の阿弥陀堂の墓股という建築部材ですが、建築部材の指定はどうでしょうか。

野口委員 室町時代であれば、かなり貴重です。室町時代とする根拠は言い伝えですか。

事務局 昭和27年に当時、建築物として貴重なため、阿弥陀堂を解体をして調査するため、西光院の敷地に移動したところ、火災となり焼け残った部材です。建築部材で指定文化財という事例はありますか。

野口委員 室町時代の墓股はあまり残っていないと思うので、指定の可能性もあると思います。

新井委員長 その辺も視野に入れて考えていきましょう。

青木委員 鐘楼の、元禄の墓股もありましたね、それも合せて見ていただければと思います。

島村教育長 東条原の獅子舞は用具だけを指定し、文書は指定していないのですね。

青木委員 延享2年の文書と若者連の文書があったと思います。

新井委員長 他にどうでしょうか。会議の時、必ず議題に上がってくる資料もいくつかありますので、この機会にぜひ前に進みたいと思います。ご意見等ありましたら、会議以外

の時にでも事務局へご連絡あるいはご意見いただければと思います。続きまして文化財案内板の設置場所の計画について事務局から説明してください。

事務局 文化財案内板候補リストにつきまして説明します。県のふるさと歩道の張り替えが必要な看板は、赤松浅間社1つとなっています。その他、村社クラスで案内板がないのは、金原稲荷神社、道仏稲荷神社、蓮谷稲荷神社、寺院クラスで大聖院、東条原の郷地蔵、道仏の医王院、須賀の金剛寺などがあります。遺跡で案内板がないのは、山崎山遺跡、逆井遺跡です。それらが今後、候補になると思います。

新井委員長 事務局から説明がありましたが、ご意見ありますか。

青木委員 赤松浅間神社は県の案内板がありますが、直す予定ですか。

事務局 今年やるかどうか含めて優先的に進めたほうが良いということでしたら進めたいと思います。ただ、昨年度直した西光院にあったものと比べると、それほど傷んでいないのもう少し後でもよいかと思います。

新井委員長 他にいかがでしょうか。高野の渡しの案内板はどのようなものですか。

事務局 高野の渡しは宮代側の案内板が古くなっています。

新井委員長 事務局として優先したいものはありますか。

事務局 村社クラスは優先した方がいいと思います。金原稲荷神社は宮崎坊というお寺もあったという話もあり、村絵図にも見られます。今後、内部で検討し、氏子総代などからも了承も得られるよう進めていきたいと思います。

新井委員長 いろいろと事情があると思いますが、傷んで読めないものを最優先に進めていただきたいと思います。次は「その他」ですね。何か委員の皆さんからご提案、ご意見等があれば伺いたいと思います。

青木委員 西光院の阿弥陀三尊像ですが、安元2年（1176）に造られたものなので、今年で850年です。東京国立博物館で展示をするなどの情報はありますか。

事務局 展示勧告も届いていませんし、情報はありません。

青木委員 年号が残る三尊像ですし、何かの機会に町民の方に紹介してもらいたいと思います。

新井委員長 全国的に有名な仏像なのに地元の方が知らないということもありますね。他になれば、以上で議事の方は終了させていただきたいと思います。これにて議長の任は解かせていただきます。

事務局 ありがとうございます。お配りした文化財だよりは埼玉県文化財保護協会を出しており、西光院について書かれていますので、ぜひご覧ください。以上をもちまして、令和8年度第1回会議を終了させていただきます。

第2回の会議につきましては、本年12月頃予定しております。2ヶ月ほど前に皆様にご予定を聞かせていただきまして、できるだけ皆様のご都合に沿う日を設定させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【会議終了】